

校長室だより

No. 20

平成28年9月21日(水)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよし かざ
加藤嘉一

人に幸せや元気をもたらすこと

ー六ツ美中部学区「竹馬リレー記録(329人)」がギネス世界記録に!!ー

ギネスワールドレコードジャパン公式認定員のマクミラン舞さんが、集まった人を前にギネスの趣旨や今回の競技ルールについて、またその審査方法や経緯までを丁寧に説明します。結果がどうだったのか気が気でならない空気が漂うなか、マクミランさんの口から「世界記録樹立を認定します」と発表された瞬間、六ツ美中部小学校の体育館は歓喜あふれる空気に満たされました。



【学校での練習風景】



【早朝3時半から準備に集まった方々】

9月18日(日)朝4時45分開会、5時に競技がスタートした本学区本年度最大のイベント「竹馬でギネスに挑戦」。当日は、時折雨が降る状況にもかかわらず、夜の7時過ぎの時点で総勢329の方が、竹馬で100m(50mの折り返しコース)を歩き(走り?)、リレーしました。本校小学生も130人程が参加です。(職員も今年転勤した智記先生を含め、7人が出場)

今回世界記録を樹立するためには、24時間以内に250人以上(一人1回の出場限定)が、100mを竹馬で歩き、使っていた竹馬をバトンにし、次の人へ渡すことを繰り返す必要があります。公式認定員との対応を行った蜂須賀さん(今回事務局を行い、ギネス樹立の立役者)から漏れてくる声は、会場設営や記録の取り方、道具の確認・交換の手順、証人・補助員の人選、出場者の確認など、非常に厳しいチェックがあり、冷や汗を何度も流す状況があったと聞きました。

これまでの準備会の記録を振り返ると、昨年から市制100周年記念事業に応募し、決定したのが10月。それ以前から準備は始まっていましたが、正式に準備委員が組織され、第1回準備会議が12月6日でした。夜の7時から9時過ぎまでの会議を、本番まで12回以上持ちました。当日係をされた方を含め100人前後の方が運営に携わられたと思います。

学校の行事ではありませんが、わたしは今回の企画に関わらせていただいて本当によかったと思いました。それは、ギネス記録認定式で世界記録樹立の認定がされ、そしてたくさんの方が次から次へと認定証やマクミランさんと記念撮影していたからでした。この光景が続いたところを見たとき、「ああ、これが人の幸せをつくるということなのだ。」と実感しました。この企画が、いかに人の心に幸せと地域に元気を与えたかを実感し大きく感動したことと、学ばせてもらったという感謝の気持ちが出てきました。



【竹馬ギネス当日風景】

今回、参加した人も参加できなかった人も、本校の学区は、竹馬という特技を多くの方が持っていることを誇りにし、共有できます。それに加え、今回の企画により、何十年も先まで、「うちの学区は多くの方が竹馬に乗れ、ギネス記録を打ち立てた」ということを語り継ぐのではないかと思います。郷土に誇りを持つのです。

わたしたちも、教育活動の様々な面から、「郷土に誇りを持つ」教育を子供たちに行っています。今回は、わたしたちではなく、地域の方々がそれを成し遂げられたのだと実感したとき、この企画を支えてきた人



【ギネス記録認定式】

役職	氏名(敬称略)	所属等
委員長	萩原 利元	学区社教委員会委員長
副委員長	鈴木 義則	学区総代会会長
〃	原 直孝	六ツ美中部小学校 PTA 会長
〃	大杉 茂	学区体育委員会委員長
〃	杉浦喜久男	学区子ども会育成者連絡協議会会長
書記	萩原 新	六ツ美中部小学校 PTA 副会長
会計	大久保 勲	学区体育委員会副委員長
監査	山崎 雅樹	学区子ども会育成者連絡協議会副会長
理事	鈴木 正義	学区社教委員会前委員長
〃	米津 栄	学区明生クラブ 会長
〃	太田 利昭	六ツ美中部小学校同窓会会長
〃	清水 克己	六ツ美中部小学校同窓会副会長
〃	二村 和人	六ツ美中部小学校 PTA 前会長
〃	星野 欽昭	学区子ども会育成者連絡協議会前会長
〃	加藤 嘉一	六ツ美中部小学校校長
〃	大山 康弘	六ツ美中部小学校教頭
〃	田中 邦明	岡崎市スポーツ推進委員
事務局	蜂須賀 功	六ツ美中部小学校 PTA 元会長

たちの大きな力に感動しました。人の幸せをどうやってつくるのか、人を元気にすることとはどういうことかを、わたし自身が学ばせてもらいました。実行委員のみなさんに、そして、協力した方々みなさんに敬意を表したいと思います。六ツ美中部学区万歳！！